



## 2022年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年5月13日

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所 東  
 コード番号 3660 URL https://www.istyle.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 徹郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(6161)3660  
 四半期報告書提出予定日 2022年5月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2022年6月期第3四半期の連結業績(2021年7月1日~2022年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

|               | 売上高    |      | 営業利益 |   | 経常利益 |   | 親会社株主に帰属する四半期純利益 |   |
|---------------|--------|------|------|---|------|---|------------------|---|
|               | 百万円    | %    | 百万円  | % | 百万円  | % | 百万円              | % |
| 2022年6月期第3四半期 | 25,467 | 9.8  | △584 | — | △635 | — | △620             | — |
| 2021年6月期第3四半期 | 23,186 | △1.8 | △624 | — | △822 | — | △1,392           | — |

(注) 包括利益 2022年6月期第3四半期 179百万円(—%) 2021年6月期第3四半期 △1,230百万円(—%)

|               | 1株当たり<br>四半期純利益 | 潜在株式調整後<br>1株当たり<br>四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
|               | 円 銭             | 円 銭                        |
| 2022年6月期第3四半期 | △8.68           | —                          |
| 2021年6月期第3四半期 | △20.42          | —                          |

## (2) 連結財政状態

|               | 総資産    | 純資産   | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
|               | 百万円    | 百万円   | %      |
| 2022年6月期第3四半期 | 22,724 | 8,304 | 35.6   |
| 2021年6月期      | 22,235 | 8,109 | 35.5   |

(参考) 自己資本 2022年6月期第3四半期 8,087百万円 2021年6月期 7,902百万円

## 2. 配当の状況

|              | 年間配当金  |        |        |      |      |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
|              | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末   | 合計   |
|              | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭  | 円 銭  |
| 2021年6月期     | —      | 0.00   | —      | 0.00 | 0.00 |
| 2022年6月期     | —      | 0.00   | —      | —    | —    |
| 2022年6月期(予想) | —      | —      | —      | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年6月期の連結業績予想(2021年7月1日~2022年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

|    | 売上高    |      | 営業利益 |   | 経常利益 |   | 親会社株主に帰属する当期純利益 |   | 1株当たり<br>当期純利益 |
|----|--------|------|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|
|    | 百万円    | %    | 百万円  | % | 百万円  | % | 百万円             | % | 円 銭            |
| 通期 | 34,700 | 12.1 | △450 | — | △560 | — | △600            | — | △8.40          |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

|                     |            |             |            |             |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2022年6月期3Q | 74,146,800株 | 2021年6月期   | 74,146,800株 |
| ② 期末自己株式数           | 2022年6月期3Q | 2,693,567株  | 2021年6月期   | 2,693,567株  |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計)    | 2022年6月期3Q | 71,453,233株 | 2021年6月期3Q | 68,179,702株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は2022年5月13日にアナリスト及び機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。

## ○添付資料の目次

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報           | 2  |
| (1) 経営成績に関する説明               | 2  |
| (2) 財政状態に関する説明               | 3  |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明    | 4  |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記           | 5  |
| (1) 四半期連結貸借対照表               | 5  |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7  |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項        | 9  |
| (継続企業の前提に関する注記)              | 9  |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)     | 9  |
| (会計方針の変更)                    | 9  |
| (追加情報)                       | 9  |
| (セグメント情報等)                   | 10 |

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

化粧品業界におきましては、「新型コロナウイルス (COVID-19)」（以下、「新型コロナウイルス」という。）の影響により、消費者の購買意欲の低下や、外出自粛による化粧をする機会の減少、インバウンド需要の蒸発などにより、依然として景況感が厳しい状況にあります。各化粧品メーカーはこの状況を受け、広告媒体のデジタルシフト、EC販売の強化などDX<sup>\*1</sup>を推進していく傾向が強く、これによりプラットフォームとしてメディア・EC・店舗を一体化したサービスを提供する当社グループが享受できる事業成長の機会は、増加するものと見込んでおります。

当第3四半期連結累計期間における業績は以下の通りです。

売上高におきましては、2021年7月に発出された緊急事態宣言が10月に解除されたことに伴う人流の戻りと化粧品需要の回復を受けて、Beauty Service事業における「@cosme BEAUTY DAY (アットコスメビューティーデー)」（以下、「ECのスペシャルイベント」という。）の売上拡大を含むECの成長と店舗の増収があったことに加え、On Platform事業の広告・ソリューションの増収等が寄与し、2022年1月から2月にかけてオミクロン株の影響を受けたものの、過去最高売上高を記録いたしました。

営業利益におきましては、賞与引当金繰入の増加や、On Platform事業におけるソフトウェア償却費の増加等、販売費及び一般管理費が増加しておりますが、増収したことにより前年同期比改善での着地となりました。

その他、2021年8月に子会社化した韓国のGlowdayz, Inc. の株式取得に際して発生しました段階取得に係る差益114百万円を計上し特別利益は141百万円となった一方、海外店舗の収益性の低下に伴う減損等による減損損失184百万円を計上したこと等により特別損失は186百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

|                  |  |
|------------------|--|
| 売上高              | 25,467百万円 (前年同期 23,186百万円 / 前年同期比 9.8%増) |
| 営業利益             | △584百万円 (前年同期 △624百万円)                   |
| 経常利益             | △635百万円 (前年同期 △822百万円)                   |
| 税金等調整前四半期純利益     | △681百万円 (前年同期 △1,238百万円)                 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | △620百万円 (前年同期 △1,392百万円)                 |

※1 デジタルトランスフォーメーションの略。企業がビジネス環境の激しい変化に対応しデータとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

## ①On Platform事業

当セグメントには、当社が運営するコスメ・美容の総合サイト「@cosme (アットコスメ)」を基盤とした各種サービス (BtoB、BtoC) が属しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルスの影響により引き続きクライアントの予算が保守的ではありますが、マーケティングサービス「ブランドオフィシャル」を用いた分析・プロモーション施策・販売まで一貫したマーケティング提案等が功を奏し、前年同期比で増収となりました。

営業利益におきましては、ソフトウェア償却費、賞与引当金繰入および「@cosme」のユーザーアクション活性化のための費用の増加により利益率が低下し、前年同期比減益となりました。なお、ユーザーアクション活性化に向けた施策が奏功し、MAU (月間アクティブユーザー数)、年間クチコミ投稿数およびアプリダウンロード数は、過去最高水準を記録いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

|      |  |
|------|--|
| 売上高  | 5,445百万円 (前年同期 5,130百万円 / 前年同期比 6.1%増) |
| 営業利益 | 637百万円 (前年同期 980百万円 / 前年同期比 35.0%減)    |

## ②Beauty Service事業

当セグメントには、化粧品ECサイト「@cosme SHOPPING（アットコスメショッピング）」の運営、化粧品専門店「@cosme STORE（アットコスメストア）」や大型旗艦店の運営等、国内における小売業を中心としたサービスが属しております。

売上高におきまして、ECでは、コロナ禍で加速したECサイトの利用拡大に加えて、ECのスペシャルイベントにて過去最高の流通総額を記録したことなどにより、前年同期比で21.6%伸長いたしました。店舗では、第3四半期におけるオミクロン株の感染拡大の影響があったものの、2021年10月の緊急事態宣言の解除や、ワクチン接種の普及等により個人消費の持ち直しの動きが見られ、当社店舗においても来店客数が復調し、前年同期比で12.1%増収いたしました。大型旗艦店で2020年1月のオープン以来過去最高の売上高を記録しております。その結果、Beauty Service事業全体では、前年同期比16.1%増収いたしました。

営業利益におきましては、ECのスペシャルイベント開催に伴うプロモーション費用を2020年開催時と同程度（2020年2.9億円、2021年2.4億円）計上したものの、ECの躍進や、店舗の増収により、黒字転換となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

|      |  |
|------|--|
| 売上高  | 15,984百万円（前年同期 13,772百万円 / 前年同期比 16.1%増） |
| 営業利益 | 81百万円（前年同期 △290百万円）                      |

## ③Global事業

当セグメントには、日本国外で展開するEC・卸売、店舗、メディア等のサービスが属しております。

売上高におきましては、香港の店舗を2021年7月から2022年3月にかけて3店舗閉店したことや中国大陸・香港などにおいて新型コロナウイルスの影響悪化等により、前年同期比で3.6%減収となりました。

営業利益は、Glowdayz, Inc.の営業損失及びのれん償却費を計上したものの、不採算事業からの撤退や規模の縮小により収益性が改善し、前年同水準での着地となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

|      |                                       |
|------|---------------------------------------|
| 売上高  | 3,353百万円（前年同期 3,478百万円 / 前年同期比 3.6%減） |
| 営業利益 | △145百万円（前年同期 △146百万円）                 |

## ④その他事業

当セグメントには、美容部員を派遣する人材派遣事業と、創業間もない企業も含め幅広い成長ステージの企業に投資する投資育成事業が属しております。

人材派遣事業におきましては、新型コロナウイルスの影響を受け減収となりましたが、黒字を維持した着地となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

|      |                                    |
|------|------------------------------------|
| 売上高  | 685百万円（前年同期 806百万円 / 前年同期比 15.0%減） |
| 営業利益 | 18百万円（前年同期 △20百万円）                 |

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ488百万円増加し、22,724百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ114百万円減少し、13,310百万円となりました。これは主に、現金及び預金が646百万円減少し、受取手形、売掛金及び契約資産（前連結会計年度末は受取手形及び売掛金）が378百万円、商品が198百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ603百万円増加し、9,414百万円となりました。これは主に、有形固定資産が497百万円減少したものの、のれんが1,086百万円増加したこと等によるものであります。

## ② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ294百万円増加し、14,420百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ6,652百万円増加し、12,533百万円となりました。これは主に、短期借入金が500百万円、1年内返済予定の長期借入金が5,587百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ6,358百万円減少し、1,887百万円となりました。これは主に、長期借入金が6,352百万円減少したこと等によるものであります。

## ③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ195百万円増加し、8,304百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が589百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が357百万円、為替換算調整勘定が416百万円増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、2022年5月13日付け「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、通期業績予想を修正することといたしました。修正の理由につきましては、次の通りです。

2022年6月期連結業績予想につきましては、当初は第3四半期連結会計期間から新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナウイルス」という。）による影響が緩和し、成長軌道にのることで業績が改善される見込みにて計画を策定しておりました。しかしながら、実際には同期間である2022年1月からオミクロン株の拡大により感染者数は大幅に増加し、その影響を懸念したクライアントによる予算の保守化の継続や、当社の想定より社会全体での経済不安による消費意欲の低下等が見られたことにより、計画と実績に乖離が発生しました。これらの影響は国内だけでなく、中国、香港や韓国などの海外においても見受けられ、国内・海外事業ともに当社の想定を下回る結果となりました。

これらの影響と直近の業績動向を踏まえ、業績予想を修正することといたしました。なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、更なる影響を受ける可能性があります。現在の見通しでは通期連結売上高においてはOn Platform事業およびBeauty Service事業が牽引し過去最高となる見込みであり、通期連結営業利益におきましても下期から黒字化することにより、前期比で赤字額を圧縮しての着地となる見込みです。

## &lt;修正後の2022年6月期通期連結業績予想&gt;

|                 |           |
|-----------------|-----------|
| 売上高             | 34,700百万円 |
| 営業利益            | △450百万円   |
| 経常利益            | △560百万円   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | △600百万円   |

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

|                | 前連結会計年度<br>(2021年6月30日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(2022年3月31日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| <b>資産の部</b>    |                         |                              |
| 流動資産           |                         |                              |
| 現金及び預金         | 7,205                   | 6,559                        |
| 受取手形及び売掛金      | 2,707                   | —                            |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | —                       | 3,085                        |
| 商品             | 2,146                   | 2,344                        |
| 営業投資有価証券       | 893                     | 963                          |
| その他            | 540                     | 430                          |
| 貸倒引当金          | △2                      | △6                           |
| 投資損失引当金        | △65                     | △65                          |
| 流動資産合計         | 13,424                  | 13,310                       |
| 固定資産           |                         |                              |
| 有形固定資産         | 1,932                   | 1,436                        |
| 無形固定資産         |                         |                              |
| のれん            | 384                     | 1,470                        |
| ソフトウェア         | 2,663                   | 2,393                        |
| その他            | 282                     | 415                          |
| 無形固定資産合計       | 3,329                   | 4,278                        |
| 投資その他の資産       |                         |                              |
| 投資有価証券         | 1,338                   | 1,378                        |
| 敷金及び保証金        | 1,845                   | 1,819                        |
| その他            | 367                     | 533                          |
| 貸倒引当金          | —                       | △30                          |
| 投資その他の資産合計     | 3,550                   | 3,700                        |
| 固定資産合計         | 8,811                   | 9,414                        |
| 資産合計           | 22,235                  | 22,724                       |

(単位：百万円)

|               | 前連結会計年度<br>(2021年6月30日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(2022年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| <b>負債の部</b>   |                         |                              |
| 流動負債          |                         |                              |
| 支払手形及び買掛金     | 1,194                   | 1,842                        |
| 短期借入金         | 1,500                   | 2,000                        |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 965                     | 6,552                        |
| 未払法人税等        | 95                      | 228                          |
| 賞与引当金         | 94                      | 10                           |
| 事業構造改善引当金     | 3                       | —                            |
| 関係会社整理損失引当金   | 45                      | 9                            |
| その他           | 1,985                   | 1,891                        |
| 流動負債合計        | 5,881                   | 12,533                       |
| 固定負債          |                         |                              |
| 長期借入金         | 8,156                   | 1,804                        |
| その他           | 89                      | 83                           |
| 固定負債合計        | 8,245                   | 1,887                        |
| 負債合計          | 14,126                  | 14,420                       |
| <b>純資産の部</b>  |                         |                              |
| 株主資本          |                         |                              |
| 資本金           | 4,756                   | 4,756                        |
| 資本剰余金         | 3,937                   | 3,937                        |
| 利益剰余金         | △443                    | △1,031                       |
| 自己株式          | △280                    | △280                         |
| 株主資本合計        | 7,970                   | 7,381                        |
| その他の包括利益累計額   |                         |                              |
| その他有価証券評価差額金  | △59                     | 298                          |
| 為替換算調整勘定      | △8                      | 408                          |
| その他の包括利益累計額合計 | △67                     | 706                          |
| 新株予約権         | 59                      | 45                           |
| 非支配株主持分       | 148                     | 172                          |
| 純資産合計         | 8,109                   | 8,304                        |
| 負債純資産合計       | 22,235                  | 22,724                       |



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

|                     | 前第3四半期連結累計期間<br>(自2020年7月1日<br>至2021年3月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自2021年7月1日<br>至2022年3月31日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高                 | 23,186                                      | 25,467                                      |
| 売上原価                | 12,529                                      | 13,803                                      |
| 売上総利益               | 10,657                                      | 11,665                                      |
| 販売費及び一般管理費          | 11,280                                      | 12,249                                      |
| 営業損失(△)             | △624  | △584  |
| 営業外収益               |   |   |
| 受取利息                | 2   | 2   |
| 受取配当金               | 3   | 3   |
| 助成金収入               | 102   | 21  |
| 持分法による投資利益          | —   | 112   |
| その他                 | 50  | 23  |
| 営業外収益合計             | 157   | 160   |
| 営業外費用               |   |   |
| 支払利息                | 49  | 41  |
| 為替差損                | 75  | 115   |
| 投資事業組合運用損           | 13  | 3   |
| 持分法による投資損失          | 193   | —   |
| 遊休資産諸費用             | —   | 42  |
| その他                 | 25  | 10  |
| 営業外費用合計             | 356   | 212   |
| 経常損失(△)             | △822  | △635  |
| 特別利益                |   |   |
| 受取補償金               | —   | 13  |
| 新株予約権戻入益            | 38  | 14  |
| 段階取得に係る差益           | —   | 114   |
| 特別利益合計              | 38  | 141   |
| 特別損失                |   |   |
| 減損損失                | 174   | 184   |
| 関係会社株式売却損           | 173   | —   |
| 賃貸借契約解約損            | 38  | —   |
| 関係会社整理損             | 14  | —   |
| 関係会社整理損失引当金繰入額      | 55  | —   |
| その他                 | —   | 2   |
| 特別損失合計              | 453   | 186   |
| 税金等調整前四半期純損失(△)     | △1,238                                      | △681  |
| 法人税等                | 146   | △75   |
| 四半期純損失(△)           | △1,384                                      | △606  |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益    | 9   | 14  |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △1,392                                      | △620  |

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

|                  | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 2020年7月1日<br>至 2021年3月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 2021年7月1日<br>至 2022年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純損失(△)        | △1,384  | △606  |
| その他の包括利益         |   |   |
| その他有価証券評価差額金     | 25  | 35  |
| 為替換算調整勘定         | 129   | 427   |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | —   | 322   |
| その他の包括利益合計       | 154   | 785   |
| 四半期包括利益          | △1,230  | 179   |
| (内訳)             |   |   |
| 親会社株主に係る四半期包括利益  | △1,246  | 153   |
| 非支配株主に係る四半期包括利益  | 16  | 26  |

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、顧客への財又はサービスの提供における当社グループの役割が代理人に該当する取引について、従来顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、当該対価の総額から第三者に対する支払額を差し引いた純額で収益を認識する方法に変更しております。また、広告に係る製作費について、従来制作物の納品時に一時点で収益を認識しておりましたが、広告の掲載にあわせて一定期間にわたって計上する方法に変更しております。さらに、他社が運営するカスタマー・ロイヤリティ・プログラムにかかるポイント負担金について、従来は販売費及び一般管理費として計上しておりましたが、ポイント負担金を差し引いた金額で収益認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は214百万円減少し、売上原価は25百万円減少し、販売費及び一般管理費は184百万円減少し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ5百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は31百万円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

香港店舗において、2022年2月の春節にあわせて入境制限の大幅な緩和を想定しておりましたが、香港内におけるオミクロン株の発生により、入境制限の大幅な緩和が見込めないため、インバウンド需要は回復しないと仮定して計画を策定しております。この結果、香港の店舗において、投資額の一部が回収できないため第2四半期連結会計期間に減損損失を計上しております。

なお、国内の店舗に関しては前連結会計年度の決算短信の(追加情報)に記載した新型コロナウイルスの今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

|                       | 報告セグメント                    |                              |                   |                |             | 調整額<br>(注) 1<br>(百万円) | 四半期連結<br>損益計算書<br>計上額<br>(注) 2<br>(百万円) |
|-----------------------|----------------------------|------------------------------|-------------------|----------------|-------------|-----------------------|---|
|                       | On Platform<br>事業<br>(百万円) | Beauty<br>Service事業<br>(百万円) | Global事業<br>(百万円) | その他事業<br>(百万円) | 合計<br>(百万円) |                       |   |
| 売上高                   |                            |                              |                   |                |             |                       |   |
| 外部顧客への売上高             | 5,130                      | 13,772                       | 3,478             | 806            | 23,186      | -                     | 23,186                                  |
| セグメント間の内部<br>売上高又は振替高 | 164                        | 46                           | 43                | 5              | 259         | △259                  | -                                       |
| 計                     | 5,294                      | 13,818                       | 3,522             | 811            | 23,445      | △259                  | 23,186                                  |
| セグメント利益又は損失<br>(△)    | 980                        | △290                         | △146              | △20            | 525         | △1,149                | △624                                    |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,149百万円は、セグメント間取引消去13百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,162百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「On Platform事業」において、当初想定していた収益が見込めないため、一部の資産グループについて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において71百万円であります。

「Global事業」において、当初想定していた収益が見込めないため、一部の店舗及び資産グループについて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において94百万円であります。

各報告セグメントに配分していない全社資産において、一部の資産の使用を停止したため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において9百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「On Platform事業」において、連結子会社である株式会社Eat Smartの事業計画に対する進捗状況や今後の業績見通しを踏まえて検討した結果、同社株式取得時に計上したのれん未償却残高の全額42百万円を当第3四半期連結累計期間に減損損失として特別損失に計上しております。

なお、上記(固定資産に係る重要な減損損失)の中に当該のれんの減損も含めて記載しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

|                       | 報告セグメント                    |                                  |                       |                    |             | 調整額<br>(注) 1<br>(百万円) | 四半期連結<br>損益計算書<br>計上額<br>(注) 2<br>(百万円) |
|-----------------------|----------------------------|----------------------------------|-----------------------|--------------------|-------------|-----------------------|---|
|                       | On Platform<br>事業<br>(百万円) | Beauty<br>Service<br>事業<br>(百万円) | Global<br>事業<br>(百万円) | その他<br>事業<br>(百万円) | 合計<br>(百万円) |                       |   |
| 売上高                   |                            |                                  |                       |                    |             |                       |   |
| 一時点で移転される財            | —                          | 15,984                           | 2,932                 | 3                  | 18,919      | —                     | 18,919                                  |
| 一定の期間にわたり<br>移転される財   | 5,445                      | —                                | 421                   | 682                | 6,548       | —                     | 6,548                                   |
| 顧客との契約から生じる収益         | 5,445                      | 15,984                           | 3,353                 | 685                | 25,467      | —                     | 25,467                                  |
| 外部顧客への売上高             | 5,445                      | 15,984                           | 3,353                 | 685                | 25,467      | —                     | 25,467                                  |
| セグメント間の内部<br>売上高又は振替高 | 297                        | 11                               | 7                     | 8                  | 323         | △323                  | —                                       |
| 計                     | 5,742                      | 15,995                           | 3,360                 | 693                | 25,790      | △323                  | 25,467                                  |
| セグメント利益又は損失<br>(△)    | 637                        | 81                               | △145                  | 18                 | 592         | △1,176                | △584                                    |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,176百万円は、セグメント間取引消去2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,178百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「Global事業」において、当初想定していた収益が見込めないため、一部の店舗及び資産グループについて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において126百万円であります。

各報告セグメントに配分していない全社資産において、一部の資産の使用を停止したため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において59百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、Glowdayz, Inc. の株式を追加取得し連結子会社化したことにより、「Global事業」セグメントにおいてのれんが1,092百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。